



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 芦森工業株式会社

上場取引所

TEL 06-6105-1863

東

コード番号 3526

URL https://www.ashimori.co.jp/ (役職名) 取締役社長

(氏名) 鷲根 成行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

四半期報告書提出予定日

(氏名)百々 俊 2021年2月12日

配当支払開始予定日

代表者

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業和	J益	経常和	J益	親会社株主に帰 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	35,338	15.8	393		821		1,501	
2020年3月期第3四半期	41,983	4.9	43		235		1,394	135.3

(注)包括利益 2021年3月期第3四半期

1,837百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 1,200百万円 (118.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	250.18	
2020年3月期第3四半期	232.36	232.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	46,537	14,824	31.8
2020年3月期	47,884	16,804	35.0

(参考)自己資本

2021年3月期第3四半期 14,784百万円

2020年3月期 16,765百万円

2. 配当の状況

		年間配当金								
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭					
2020年3月期		0.00		25.00	25.00					
2021年3月期		0.00								
2021年3月期(予想)										

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、未定としております。

3. 2021年 3月期の連結業績予想(2020年 4月 1日~2021年 3月31日)

(%表示は 対前期増減率)

								(70-20	
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	12.5	0	100.0	200		1,500		249.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日発表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無以外の会計方針の変更 : 無会計上の見積りの変更 : 無修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	6,056,939 株	2020年3月期	6,056,939 株
2021年3月期3Q	52,547 株	2020年3月期	55,228 株
2021年3月期3Q	6,003,529 株	2020年3月期3Q	6,001,291 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料] P.2 「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	. 当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	2
	(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1)四半期連結貸借対照表	3
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
	四半期連結損益計算書	
	第3四半期連結累計期間	5
	四半期連結包括利益計算書	
	第3四半期連結累計期間	6
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
	(継続企業の前提に関する注記)	7
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
	(追加情報)	7
	(セグメント情報)	8

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、徐々に持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い個人消費が停滞、また企業活動低下による産業用資材の市況低迷や、公共事業が弱含みで推移する等、先行き不透明な状態が続いています。

このような情勢のなかで当社グループは、作業効率化による原価低減や間接経費の削減に取り組むとともに、収益や成長が見込まれる分野・地域への拡販を推進し、収益の確保に努めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を挽回するには至らず、当第3四半期連結累計期間の売上高は35,338百万円となり、前年同期比6.645百万円の大幅な減収となりました。

損益面については、当第3四半期連結会計期間は大きく改善したものの、海外連結子会社において売上債権の貸倒引当金繰入額を計上したことにより、累計営業損失は393百万円と、前年同期比349百万円悪化しました。また、海外連結子会社の外貨建債務等の評価による為替差損459百万円を計上した結果、経常損失は821百万円となり、前年同期比586百万円悪化しました。親会社株主に帰属する四半期純損失は1,501百万円で、土地売却益を2,872百万円計上した前年同期比2,896百万円の大幅な減益となり、極めて厳しい結果となりました。

以下、各事業セグメント別に概況をご報告申し上げます。当社は、事業本部制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車安全部品事業」「機能製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

①自動車安全部品事業

当第3四半期連結累計期間においては、特に期間の前半に国内及び海外現地法人ともに新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、主要顧客の生産調整に伴いシートベルト関連、エアバッグ関連、内装品関連とも販売が低迷しました。また、製造拠点の操業度の大幅な低下、商品構成の変化や物流単価の上昇等により、採算が大幅に悪化したことに加え、海外連結子会社において売上債権の貸倒引当金繰入額を計上したことも業績を押し下げました。

この結果、当事業の売上高は23,072百万円と前年同期比6,481百万円の減収となり、営業損失は1,269百万円と前年同期 比461百万円悪化しました。

当事業においては、原価低減プロジェクトの推進や、技術力・品質力の向上とターゲット顧客・商品の絞り込み、グローバル管理体制の構築等の諸施策に引き続き取り組み、収益改善に努めてまいります。

②機能製品事業

パルテム関連は、下水道分野が引き続き好調に推移したほか、農業用水分野や電力分野の受注が増加したため、売上・ 利益ともに増加しました。

防災関連は、消防用ホースの販売が低迷しましたが、災害対策用排水ホースの需要が増加し、売上・利益ともに増加しました。

産業資材関連は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けロープの販売が低調に推移したほか、高機能資材織物(タイミングベルト関連)の需要が減少し、売上・利益ともに減少しました。

この結果、当事業の売上高は前年同期並の12,240百万円となり、営業利益につきましては1,780百万円と前年同期比29百万円の増益となりました。

当事業においては、より一層の収益力向上のため、パルテム関連において増加する下水道分野の管更生需要への着実な対応と防災関連の大口径システム・防災資機材の積極的な拡販活動に取り組んでまいります。

③その他事業

当事業の売上高は26百万円、営業利益は7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は46,537百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,347百万円減少しました。これは主に現金及び預金の増加3,684百万円、減収に伴う売上債権の減少2,484百万円、有形固定資産の減少1,329百万円、投資その他の資産の減少372百万円等が影響したものです。

負債は31,712百万円であり、前連結会計年度末に比べ631百万円増加しました。新型コロナウイルス感染症によるリスク対応を目的に、長期借入金を増やすと同時に手元流動性を高めています。

純資産は14,824百万円であり、自己資本比率は31.8%(前連結会計年度末は35.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年11月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2021年2月12日)発表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、2021年3月期の期末配当予想につきましては、引き続き未定とさせていただきます。今後、予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)	
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	3, 670	7, 355	
受取手形及び売掛金	13, 837	11, 156	
電子記録債権	1,774	1, 971	
商品及び製品	2, 027	1, 988	
仕掛品	1, 290	1, 470	
原材料及び貯蔵品	5, 905	5, 300	
その他	1, 551	1, 444	
貸倒引当金	△27	△127	
流動資産合計	30, 029	30, 560	
固定資産			
有形固定資産			
建物及び構築物(純額)	5, 703	5, 256	
機械装置及び運搬具(純額)	4, 632	3, 972	
工具、器具及び備品(純額)	1, 558	1, 334	
土地	2, 081	2, 074	
リース資産(純額)	26	29	
建設仮勘定	393	399	
有形固定資産合計	14, 397	13, 067	
無形固定資産			
のれん	1, 088	965	
その他		338	
無形固定資産合計	1, 480	1, 304	
投資その他の資産			
投資有価証券	1, 216	1, 129	
長期貸付金	1	1	
繰延税金資産	509	212	
退職給付に係る資産	12	35	
その他	253	238	
貸倒引当金	<u>△16</u>	△12	
投資その他の資産合計	1, 977	1, 605	
固定資産合計	17, 855	15, 977	
資産合計	47, 884	46, 537	

(単位:百万円)

		(単位:日刀円)	
	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)	
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	5, 535	5, 430	
電子記録債務	4, 937	4, 500	
短期借入金	6, 831	6, 294	
1年内返済予定の長期借入金	980	1, 358	
リース債務	13	12	
未払法人税等	662	93	
引当金	726	677	
その他	2, 473	2, 232	
流動負債合計	22, 161	20,600	
固定負債			
社債	3,000	3,000	
長期借入金	3, 433	5, 713	
リース債務	31	31	
退職給付に係る負債	2, 193	2, 080	
資産除去債務	29	29	
繰延税金負債	144	172	
その他	85	84	
固定負債合計	8, 918	11, 112	
負債合計	31,080	31, 712	
純資産の部			
株主資本			
資本金	8, 388	8, 388	
資本剰余金	1,632	1,632	
利益剰余金	7, 197	5, 542	
自己株式	△165	△156	
株主資本合計	17, 052	15, 406	
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	140	161	
繰延ヘッジ損益	3	$\triangle 4$	
為替換算調整勘定	△234	△606	
退職給付に係る調整累計額	△195	△171	
その他の包括利益累計額合計	△286	△622	
新株予約権	21	23	
非支配株主持分	16	16	
純資産合計	16, 804	14, 824	
負債純資産合計	47, 884	46, 537	

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円) 前第3四半期連結累計期間 当第3四半期連結累計期間 2020年4月1日 (自 2019年4月1日 (自 2019年12月31日) 2020年12月31日) 至 売上高 41,983 35, 338 売上原価 37, 249 31, 412 売上総利益 3,926 4,734 販売費及び一般管理費 4,778 4,320 営業損失 (△) $\triangle 393$ $\triangle 43$ 営業外収益 32 15 受取利息 26 受取配当金 20 その他 128 150 営業外収益合計 186 187 営業外費用 支払利息 168 93 持分法による投資損失 20 18 為替差損 12 459 その他 179 39 営業外費用合計 378 613 経常損失 (△) $\triangle 235$ △821 特別利益 土地壳却益 2,872 94 投資有価証券売却益 76 10 123 雇用調整助成金 特別利益合計 2,949 228 特別損失 新型コロナウイルス感染症による損失 246 特別損失合計 _ 246 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 2,714 $\triangle 839$ 純損失 (△) 法人税、住民税及び事業税 402 649 法人税等調整額 669 260 法人税等合計 1,319 662 四半期純利益又は四半期純損失 (△) 1,394 $\triangle 1,501$ 非支配株主に帰属する四半期純利益 0 0 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 1,394 $\triangle 1,501$ に帰属する四半期純損失 (△)

(四半期連結包括利益計算書) (第3四半期連結累計期間)

(N) 5 1 1 /93 (Z/HANCH1793H4)		(単位:百万円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1, 394	△1,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	20
繰延ヘッジ損益	1	△8
為替換算調整勘定	△108	△369
退職給付に係る調整額	3	24
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	$\triangle 3$
その他の包括利益合計	△194	△335
四半期包括利益	1, 200	△1,837
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1, 200	△1,837
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計 上の見積りについて、重要な変更はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	幹	告セグメン	٢				四半期 連結損益
	自動車 安全部品 事業	機能製品事業	計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	計算書計上額(注)3
売上高							
外部顧客への売上高	29, 554	12, 410	41, 964	19	41, 983	_	41, 983
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	Ī	-	-	-
≅ +	29, 554	12, 410	41, 964	19	41, 983	_	41, 983
セグメント利益又は 損失 (△)	△807	1, 751	943	4	947	△991	△43

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業と売電事業を含んでおります。
 - 2. セグメント利益又は損失 (\triangle) の調整額 \triangle 991百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

- Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	幹	骨セグメン	F				四半期 連結損益
	自動車 安全部品 事業	機能製品 事業	計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	計算書計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	23, 072	12, 240	35, 312	26	35, 338	_	35, 338
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	_	-	-
≅ +	23, 072	12, 240	35, 312	26	35, 338	_	35, 338
セグメント利益又は 損失(△)	△1, 269	1,780	511	7	518	△912	△393

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業と売電事業を含んでおります。
 - 2. セグメント利益又は損失 (\triangle) の調整額 \triangle 912百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
 - 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。